

CSR theme

For lively and vibrant society

いきいきと輝く社会づくり

私たちは、社員とともに、安全労働、健康経営、ダイバーシティの推進、働きがいのある職場の実現、社会貢献活動の取組み等により、企業の社会的使命を果たし、いきいきと輝く社会づくりに貢献します。

CSR重点活動項目

ダイバーシティの推進

基本的な考え方

「ちがいを」価値として、多様な人材が「自分らしく」チャレンジできる組織風土づくりに取り組んでいます。

障がい者雇用の推進



NTT西日本グループでは、障がいのある方が職業を通じ、誇りをもって自立した生活を送ることができるよう、多様な活躍フィールドを活かした雇用機会の創出、拡大を図っています。現在1,000人を超える障がいのある社員が、さまざまな職場でNTT西日本グループの通信業務を支えるとともに、キャリアアップを果たしながら活躍しています。

障がい者雇用率
(2019年6月時点)

2.82%

一前年比0.09%▲
(法定雇用率：2.2%)



アウトバウンドテレマによるお客さまへの提案

女性社員の活躍推進



より多くの女性社員がリーダーシップを発揮し、経営の意思決定の場に参画できるよう、女性のライフイベントを踏まえた中長期的な視野でのキャリア意識の醸成と、そ

の実現を支える職場環境、風土づくりに取り組んでいます。中堅女性社員を対象としたマネジメント力向上のための研修や結婚出産等のライフイベントとの両立を支援する各種セミナー、女性社員と管理者との対話会等を毎年継続的に実施しています。政府が推進する「女性活躍推進法(2016年4月1日施行)」についても「一般事業主行動計画」を定め、社員一人ひとりが「自分らしいキャリアの実現」ができる環境づくりに積極的に取り組んでいます。また、2017年度から、ライフイベントと両立したキャリアプランを描けるよう、新卒の採用数を増やし、育児休職を取得した社員の組織へ後任の人事配置を行い、育児休職を取りやすい環境づくりに取り組んでいます。

優良企業認定マーク「えるぼし」最高位に認定

NTT西日本は、女性の活躍に関する取組みの実施状況が優良な企業として、2017年1月に厚生労働大臣から女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし」の最高位を取得しました。



LGBT等性的マイノリティへの対応



NTT西日本グループでは、多様性の1つとしてLGBT等性的マイノリティへの適切な対応をめざし、社内外相談窓口での対応に加え、社員の理解醸成に向けた研修やセミナーを実施しています。また、2018年4月にはだれもが安心して働ける環境づくりをさらに推進するため、各種手当、福利厚生等、配偶者およびその家族に関わる制度全般を同性のパートナーにも適用しました。

【大阪市LGBTリーディングカンパニー認証制度】で3つ星(最高位)を取得

2019年3月27日、大阪市役所にて「大阪市LGBTリーディングカンパニー認証制度」の認定交付式が行われ、NTT西日本は、最高位である3つ星の認証を受けました。

「大阪市LGBTリーディングカンパニー認証制度」は、性的マイノリティが直面している課題等の解消に向けた取

※ 各記事に関連するおもなSDGsのアイコンを表示しています

組みを促進することを目的として、先進的・先導的に推進している事業者をLGBTリーディングカンパニーとして大阪府が認証する制度です。

NTT西日本では、特に社員の理解醸成に向けた取り組み(全社員ウェブ研修、当事者による講演、情報発信等)を推進しており、今回、最高位の評価をいただきました。



理解醸成に向けた取り組み模様

CSR重点活動項目

働きがいのある職場の実現

基本的な考え方

社員個々のライフステージや価値観等を尊重しつつ、社員のワークライフマネジメントのさらなる充実に向けた取り組みを展開しています。

「働き方改革」の推進



NTT西日本グループでは、多様な働き方の実現に向け、「働き方改革」に取り組んでいます。

社員の声を起点とした業務改善や、時間と場所にとらわれないテレワーク環境・制度整備(フレックスタイム、在宅勤務、サテライトオフィス等)を進めてきました。

今後は、生産性意識の醸成をベースに、新たな価値創造に向けて、所属組織での業務を継続しながら別組織での業務にもチャレンジできるしくみを推進する等、社員も会社も成長し続ける環境づくりに取り組んでいきます。



本社内サテライトオフィス

次世代育成支援



NTT西日本では「次世代育成支援対策推進法(次世代法)」に基づき、性別・年代を問わず、ワークライフマネジメント推進に対する理解促進および社員個人の多様な働き方を受容する組織風土づくりに向けた「行動計画」を立て、その実践に取り組んでいます。その取り組み成果が認められ、同法に基づく認定(くるみん認定)を取得しています。

今後は、これまでの取り組みの継続、定着に加え、男性社員の育児参画推進や、ライフキャリアに関する個別相談支援により、全社員を対象としたワークライフマネジメントの実現に取り組んでいきます。



「ベストな共働きスタイルを考える」セミナー

企業内保育所等の環境整備



NTT西日本グループは多様な人材の活躍に向けた取り組みの一環である「子育て支援」として、2017年に企業内保育所「ゆめみいよ保育園」を愛媛県松山市に開設しました。同保育園は当社社員以外も利用できる施設で、地域の子育て支援に貢献

料金補助等が
受けられる育児施設数
(西日本エリア)
約540カ所



愛媛支店ビル敷地内の「ゆめみいよ保育園」



「ゆめみいよ保育園」室内

しています。さらに、福利厚生の一環として、西日本エリアで約540の育児施設を利用した際には料金補助等が受けられる等、仕事と家庭を両立できる働きやすい職場環境の充実を図っています。

職場風土の見える化



NTT西日本グループでは、いきいきとした職場づくりに向け、風土改革の取り組みを進めています。その1つとして、毎年、職場風土状況の見える化を目的とした職場診断を実施しています。診断結果を各職場へフィードバックすることで、職場実態にあった改善を促し、さらなるエンゲージメント向上に努めています。

CSR重点活動項目

健康経営の推進

基本的な考え方

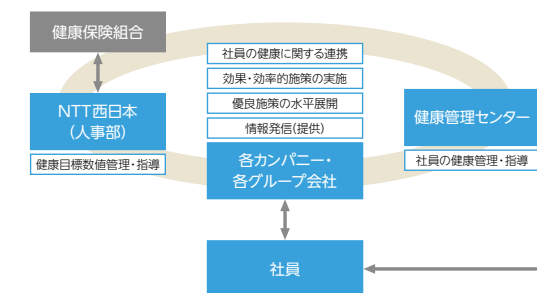
社員・家族が心身ともに健康で働き続けられる環境づくりを促進しています。

健康経営*の推進体制



NTT西日本グループでは、社員が心身ともに健康で、かつ安心して働き続けられる環境をつくり、社員の生産性・モチベーションが向上するようグループ一体で戦略的に取り組んでいます。推進に当たっては本社人事部が推進責任者となり、健康管理センターと連携し、情報の発信や優良施策の展開、健康管理の指導等を実施しています。また、定期健康診断はもとより、希望者には人間ドックの受

健康経営の推進体制



診機会を提供し、40歳以上の生活習慣病がある社員に対しては、特定保健指導を実施しています。こうした取り組みは2018年度より「健康目標」を定め、見える化を図り健康経営を推進しています。

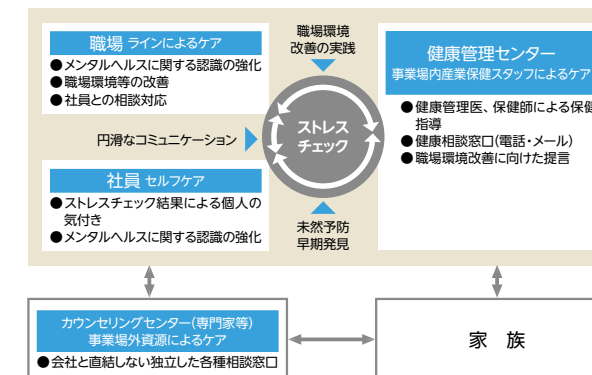
※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です

メンタルヘルスケア



メンタルヘルス対策については、厚生労働省が定めた「労働者の心の健康の保持増進のための指針」を踏まえ、積極的に取り組んでいます。「4つのケア」に基づいたセルフケアとして、ストレスチェックを実施するとともに、ラインケア研修を含めた各種研修の実施や、社内外の医療スタッフによる健康相談窓口を設け、社内外で相談しやすい環境づくりに努めています。

メンタルヘルス対策推進体制イメージ



CSR重点活動項目

安全労働の推進

基本的な考え方

職場におけるすべての社員の安全を確保するとともに、快適な職場環境の促進をめざしています。

労働災害ゼロをめざして

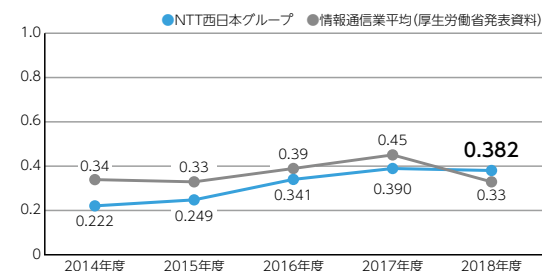


NTT西日本グループは、安全労働を第一に、作業現場の安全パトロール、安全点検、安全講習会、各地域単位で

の安全大会開催や作業環境の改善等、各種安全対策を積極的に実施し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取組み、事故の未然防止に努めています。2018年度の労働災害については25件発生しており、おもな原因は、基本動作不徹底等によるものです。

これらの未然防止に向けた労働災害についてのタイムリーな情報共有、再発防止に向けた注意喚起を行う等の各種取組みを継続的に実施することで、労働災害ゼロをめざします。安全確保・事故防止に必要な基本事項について、連携する通信建設会社を含めたNTT西日本グループ全体で協議と情報共有を行っています。

労働災害発生度効率の推移



「安全の日」と連動した活動



年2回開催される安全対策協議会で、現場への浸透を図るため、事故再発防止策に関する議論を行う等、労働災害根絶に向け、積極的に取り組んでいます。

2018年度のおもな取組みとして、各職場において安全自主活動の活性化を目的に、全作業員が自ら考え安全な行動をする活動を推進しています。継続的な取組みとして、人身事故情報を現場作業者に確実かつタイムリーに情報配信するとともに、全作業員が過去の事故事例に学び、再発防止策を確認しています。

人材育成

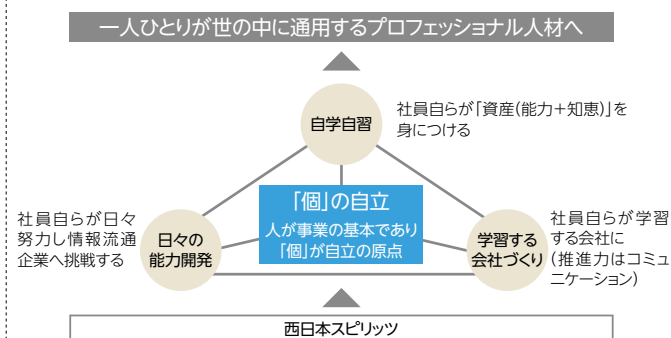
人材育成の推進



社員一人ひとりがプロフェッショナル人材へと成長していくために、「個」の自立に向けた能力開発を推進し、社員が自らのキャリアデザインを描き主体的に学ぶ姿勢をサポートする環境等を提供しています。具体的には、チャレンジ意欲・モチベーション向上に応えるさまざまな育成プログラムとして、各事業分野に適応した集合研修、eラーニング、通信教育、社内スキル認定制度、資格取得に向けた支援制度等の整備・充実を図り、スキル・ノウハウの向上に努めています。

研修プログラム数
(2018年度)
2,554
—前年比9.99%増—

人材開発ビジョン



お取引先とのかかわり

公正な取引の徹底



社会の持続可能な成長への要請に応え、NTTグループでは「NTTサプライチェーンCSR推進ガイドライン」や「NTTグリーン調達ガイドライン」等の基本方針に沿ったオープンで公正な調達に取り組んでいます。また、サプライヤの皆さまと連携し、武装勢力の資金源となる「紛争鉱物」の不使用に向けた取組みを推進します。

さらに、NTT西日本では品質や安全性・施工性の向上、環境保護への寄与等の改善をサプライヤの皆さまからご提案いただき、それを仕様に反映させる活動(VA: Value Analysis)を実施しており、優良な提案をいただいたサプライヤに対しては表彰を実施しています。

CSR重点活動項目

社会貢献活動の推進

基本的な考え方

NTT西日本グループは“企業は社会の一員である”と考えています。そして、このスローガンのもと、単なる金銭援助ではなく、積極的・継続的に社会貢献活動に参加し、「良き企業市民」として社会と共生することで地域と一体となつてともに感動し、成長しながらより良い未来を創造していきます。

社員食堂の厨房機器等を福祉団体へ寄贈



NTT西日本グループの関西エリア管内では2019年9月時点で、廃止になった社員食堂が153ビルあります。そのうち2ビルの食堂で使用していた厨房機器や什器類を、大阪市社会福祉協議会に寄贈しました(9月5・9日: 箕ビル、同18~19日: 大国町ビル)。

寄贈した厨房機器等は、協議会に加盟する子ども食堂や福祉団体(保育所、幼稚園、障がい者施設、老人介護施設等)の厨房施設等で再利用され、食を通じ、地域の方々が集う場を支援させていただくことで地域のつながりづくりに貢献しています。

2019年度内には、関西エリア内の他ビルの厨房機器等についても寄贈を検討しており、地域に密着した社会貢献活動を展開していきます。



住之江安立地区 親子・高齢者食堂での食事風景

「全日本トライアスロン皆生大会」へのボランティア参加



NTTグループは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてスポーツボランティアを奨励しています。NTT西日本 鳥取グループでは30年にわたり「全日本トライアスロン皆生大会」にボランティア参加しており、2018年度からスタッフの位置情報を把握するICTサービスを活用することで大会運営をサポートしました。今後も地域の皆さまと協力し大会を盛り上げていきます。

児童養護施設へのクリスマス訪問



2018年12月、NTTグループの社員がサンタクロースやトナカイに扮し、金沢市内の児童養護施設を訪問しました。1989年から始まった本活動は30年目を迎え、27人が参加し、子どもたち143人、一人ひとりにプレゼントを手渡しました。子どもたちからは心のこもったカード等をいただきました。今後も地域に根ざした活動を推進していきます。



笑顔に囲まれ心温まる交流会

タオル帽の贈呈



抗がん剤治療の副作用等により髪が抜けた方への心のケアの一助として、NTT西日本の九州・沖縄エリアの女性社員を中心として、2018年度、タオルを収集して300枚超の「タオル帽子」を作製し、病院やボランティア団体等とおして患者さまへ寄贈しました。ひと針ひと針の手縫いに社員の心のぬくもりを添えてお届けしています。

※ NTT西日本 九州・沖縄エリアの女性社員で構成された自主活動委員会「VIC (Value Increase Committee = 価値向上委員会)」と「うない」(沖縄の方言で「姉妹」の意味)に所属するメンバー

「倉敷天領夏祭り」に参加



NTT西日本 岡山グループから約120名が「倉敷天領夏祭り」に参加しました。踊り連を編成し、鳴子を手に揃った踊りを披露しました。沿道の観客からも大きな拍手が湧きおこり、夏祭りの盛り上げに一役買い、踊りコンテストの「特別賞」を受賞しました。今後も地域活性化に向けてさまざまな交流の輪を深めていきます。



地域の一員として祭りに積極的に参加